

生涯スポーツ実践センターの社会貢献事業

坂口 俊 哉*

生涯スポーツ実践センターの坂口と申します、よろしくお願いたします。毎年こういう協力者会議という形で開催させていただいているのですが、どうも発表が終わってすぐ質疑という形で皆さんにご意見をということになると皆さん固まってしまうようですので、できるだけ柔らかいかたちで5分だけ時間をいただいで、我々のセンターの取り組みについて紹介したいと思います。

社会連携、社会貢献プロジェクトということで、この内容については我々のセンターのほうの事業のなかの一つの柱になるわけですが、今年度実施している内容について紹介します。NIFS スポーツクラブへの支援、それから鹿児島県内の自治体への出前貯筋教室と、それから大隅地区の住民を対象としました健康づくり教室というような事業を行ってきました。貯筋教室のほう、貯筋キャラバンと銘打って実施してはいたのですが、主な内容としましては、我々、生涯スポーツ実践センターが主催者というかたちで、内容につきましては貯筋運動という高齢者を中心とした運動に関する講義と実技、約2時間ぐらいの内容で実施させていただきました。場所については市の公民館であるとか体育館とか、そういったところを利用させていただいております。この内容につきましては我々のセンターの事業ということになっていますので、この事業に係わる経費については鹿屋体育大学のほうが負担しているということになっています。数年前にこの会議のなかで鹿屋体育大学のほうにぜひ何か協力をお願いしたいのですが、具体的にどのぐらいお金がかかるのですかというような質問を受けたことがありまして、そういうことも気になるところなのだということで、今回はこの辺についても若干紹介していければと思っています。

それから今年度実施した健康づくりエクササイズ教室ということで、これも我々の主催事業というかたちで実施しました。先程お話があったかもしれませんが、竹島先生のほうで開発されているような運動で

を紹介するなかで特に運動指導者を中心とした対象として実施した教室もあります。実践センターとの連携をぜひ進めていただきたいと思うのですが、我々が取り扱っている内容につきましては健康づくり、あるいは生涯スポーツの推進に係わるような分野で、中身としましては講習会あるいは研修会の企画、それから講師の派遣、受託研究あるいは調査支援、それから情報提供や相談といった内容になります。先程、調査、県の取り組みについて報告をさせていただいた内容がありますが、ああいったような形でも我々のほうで協力ができるかなというふうに考えております。


これから紹介する内容につきましては現在色々な形で連携を行っている垂水市の事例を紹介させていただきますが、まず平成25年度、先程ご紹介しました貯筋キャラバンというのを開催しました。それから貯筋指導者養成キャンプ、それからスポーツ推進計画を策定するためのアンケート集計と、この計画を策定するための策定委員というかたちで我々のセンターの教員が関わっているということです。「貯筋キャラバン in 垂水市」は1日約2時間の内容で貯筋運動の普及・啓発のための講義・実技を行いました。場所は先程言ったような公民館であるとか総合体育館を利用させていただいております。この場合は事業経費については鹿屋体育大学で負担をしています。センターが企画・提案をして、自治体が会場の提供あるいは広報、参加者募集というようなことを協力してくれて実施しています。

それから自治体から提案をいただいで行くとしましては、貯筋指導者の養成キャンプというようなものがあります。これに関しましては貯筋を指導できるような方を育成しようということで行っているのですが、これについては事業経費は垂水市のほうから負担させていただいて、我々のほうでは講師を派遣するというようなことで対応しています。それから受託研究ということでいうと、先程紹介したスポーツ推進計画策定に向けたアンケート調査というようなことで、我々のほうではデータの集計・分析・報告書の作成で協力

*生涯スポーツ実践センター

させていただいております。このようにいろいろな連携の仕方があるんです。

連携ができるのかというようなところで非常に考えるようなところがあるのかもしれませんが、逆に我々から自治体の方達にお願いしたい部分というのもありまして、来年度学生の指導者養成事業というのを生涯スポーツ実践センターの事業計画のなかに盛り込んでおります。このなかでは学外での指導というのも当然行うのですが、指導力を身につけた学生を実際の現場で指導を体験してもらいたいなと我々のほうでは考えていますので、ぜひそういった学生を自治体で受け入れていただいて、実践の場を与えていただければと考えています。より良い連携をするためにwin-win, お互いにより良いものが、実りあるものになるようにするために、まず相談していただきたい、我々もぜひ相談に行ける機会があればなと思っております。ぜひ要望があれば、この協力者会議のなかでもお話していただければなと思います。センター構成員は3名おりまして、竹島、北村、坂口といます。それぞれの専門業務についてはこちらのほうに書いてありますので、この辺に近い話であればいろいろと相談もしやすいのではないかなというふうに思います。よろしく申し上げます。



平成25年度 鹿屋体育大学生涯スポーツ実践センター協力者会議

生涯スポーツ実践センターとの連携

社会連携・社会貢献関係プロジェクト

- NIFSスポーツクラブへの支援
- 鹿児島県内の自治体への出前貯筋教室(貯筋キャラバン)事業
- 大隅地域の住民を対象とした健康づくり教室

貯筋キャラバン


- 主催：生涯スポーツ実践センター
- 内容：高齢者の健康づくりと運動講義、実技（約2時間）
- 場所：公民館、体育館など
- 参加者：中高齢者40名程度
- 事業経費：鹿屋体育大学



高齢者健康人、鹿屋体育大学 生涯スポーツ推進教育財団 月報「豊実」平成26年1月号

大隅地域の住民を対象とした健康づくり教室


- 平成25年「健康づくりエクササイズ教室」
- 主催：生涯スポーツ実践センター
- 内容：高齢者を対象とした健康づくり教室、実技講習
- 対象：中高齢者の健康づくり・介護予防などに従事している運動指導者
- 場所：鹿屋体育大学
- 事業経費：鹿屋体育大学



ワンチケ州は大学 マイケル・ロジャース氏を講師に招いて実施

生涯スポーツ実践センターとの連携

- 健康づくり、生涯スポーツの推進に関わる講習会・研修会などの企画
- 講師派遣
- 受託研究・調査支援
- 情報提供・相談



平成25年度 鹿屋体育大学生涯スポーツ実践センター協力者会議

生涯スポーツ実践センターとの連携

垂水市との連携

平成25年度実績

- ・ 貯筋キャラバンの開催
- ・ 貯筋指導者養成キャンプの開催
- ・ スポーツ推進計画策定のためのアンケート集計
- ・ 上記計画の策定委員



センター主導の連携例

「貯筋キャラバンIN垂水市」

- ・ 主催：生涯スポーツ実践センター
- ・ 日程：1日（約2時間）
- ・ 内容：貯筋運動の普及・啓発のための講義、実技
- ・ 対象：垂水市民
- ・ 場所：垂水市柘原地区公民館、垂水市総合体育館
- ・ 参加者：中高齢者40名
- ・ 事業経費：鹿児島体育大学センターが企画提案、自治体が会場提供、広報、参加者募集



自治体提案型の連携例

「貯筋指導者養成キャンプ」

- ・ 主催：垂水市
- ・ 日程：1泊2日
- ・ 内容：貯筋指導者の育成を目的とした講義、実技
- ・ 対象：スポーツ推進委員、医療・介護従事者など
- ・ 場所：猿ヶ城渓谷 森の駅たるみず
- ・ 参加者：中高齢者30名
- ・ 事業経費：垂水市



垂水市HPより

<http://www.city.kamizaki.lg.jp/oshirase/hoken/kuai/cyclekundou/project.htm>

受託研究例

垂水市スポーツ推進計画策定のための調査分析

- ・ 内容：スポーツ推進計画策定に向けて市民を対象としたアンケート調査を実施。
- ・ 事業経費：データの集計、分析、報告書の作成に対する受託研究費として。

平成26年度計画

学生指導者養成事業

- ・ 概要
生涯スポーツ指導者として必要な専門的理論の習得と実践的指導力を育成することを目標とした事業。
- ・ 課題
校内での指導と同時に、実習先を確保することも必要。

よりよい連携のために

- ・ Win-Winな関係を築くためにまずは相談を。
- ・ 要望を是非お知らせください。
- ・ センター教員
竹島伸生（体力科学、運動科学）
北村尚浩（スポーツ社会学、生涯スポーツ学）
坂口俊哉（野外教育、スポーツ・マネジメント）